

新 運 転 東 京

第 72 号
(通巻 337 号)

2018年2月25日

発行人
新産別連転者労働組合
東京地方本部
(略称・新運転東京)
編集兼発行人 川村 勝
〒110-0003
東京都台東区根岸
3-25-6
TEL03-5603-1300
FAX03-5603-5300

安倍政権の働き方改革反対！ 我々の労供事業拡充を！！

過去2年間に我々の労供事業に起こった「激変」と「混乱」、そして「新しい働き方」は、この4月からの新たな「有期供給契約」締結に向かっている。
一方で、安倍自公政権はかつての「世界で一番企業が活躍しやすい国の実現」との基本方針を隠し、「働き方改革」と労働者の利益を考慮した政策課題を前面に出している。この状況下で、我々に求められていることは、原点、原則から働き方と組織を立て直す決意と実行力であり、今春季の重要課題と位置付けている。

1月22日から始まった第196回通常国会は、既に1カ月以上が経過している。発揮できる、柔軟な労働制冒頭の安倍首相の所信表明演説は、昨年のモリカケ隠し違憲解散時の「国難突破選挙」同様の大衆受けを狙った標榜・大言壮語が山盛り。曰く、「国難」「働き方改革」「人づくり革命」「生産性革命」そして、憲法改悪への意欲など。それらを明治150年記念の節目という時代認識にまもって強行する狙いが見えぬものだった。

中でも、働き方改革に「誰かがその能力を」度だが、このやり方は3年前の国際支援法や自衛隊法P KO法など11の安保関連法案の一括審議、強行採決と同じ暴挙に他ならない。

「裁量労働制」に関する過去データの捏造が明らかになり、安倍首相が答弁を撤回し、謝罪する事態となった上に、更に400件近い捏造ミスが明らかになってきたにも拘らず法案そのものの撤回を拒否し、強行採決の姿勢を崩していないのだ。

第28回新運転定期全国大会開催！

来る3月11日、東日本大震災、東京電力福島第一原発の重大事故から7年目の当日、タブレット根岸会館において開かれる大会は、連合・交運労協の仲間たちの春闘真っ盛りの中で開かれる。昨秋の春闘討論集から議論を重ね、確認された闘いの基調は、「底上げ」「月例賃金」「持続性」「広がり」の4つのキーワードの下で、「底上げ・底支え」「格差是正」「大手追従・大手準拠」などの構造を転換する重要課題となっている。

その一つは、一昨年来の重要課題となっている日雇雇用保険問題である。この間、首都圏と関西圏で労供事業に取り組んでいる労働組合の協議体である労供労組協や我々の産別組織である各地方の労働局、職安に加えて厚労省との交渉を重ねてきたが、行政と法律の壁を突き破ることができないまま妥協的な対応に追い込まれてきた。従って、我々の労供事業と一般法との関係を明確にする法理的根拠を再確立する必要がある。

そして、昨秋に厚労省が出した我々の労供事業に関する文書の撤回を求める取り組みである。その文書の背景に見え隠れする厚労省の本音は、労働組合の労供事業の軽視から無視、そして廃止だと思える。まさに新運転発足60周年を前にした存立危機事態だという認識をもって、この一年間の具体的な方針確立が求められているのだ。

代議員一覧

- *菅原 元
- *樋口 浩
- *佐々木克己
- *山崎 芳徳
- *赤川 彰三
- *近藤 政則
- *堀江 奨
- *草苺 脩二
- *高見 圭司
- *尾崎 勝治

「組合員との労働契約の変更に伴う労働条件の云々」と我々の組合員が供給先と個人として労働契約を結んでいるかのような表現があったのである。

去る2月8日午後3時から自運労東京支部会館会議室で開催された役員会議。第一に、今年度の賃金労働条件申し入れについて、*東環保には、現行の全車両・作業員の平均日額から4%の賃金アップと高齢者賃金の撤廃、そして労働現場の改善を求めることを確認。更に、有給休暇との関係で、継続就労者への指定期間は、不就労の6割支給を求めると第5週の休車時の有給扱いは不可という要求を確認した。

2018年度 新運転東京 交通安全講習会
開催日時：2018年4月1日(日) 10時開始
会場：連合会館2Fホール
次 第
司 会 菅原 元 副執行委員長
主催者挨拶 太田武二 執行委員長
来賓挨拶 一般社団法人 東京環境保全協会
講 演 独立行政法人 自動車事故対策機構 (NASVA) 東京主管支所
閉会挨拶 佐々木克己 副執行委員長
協 賛：一般社団法人 労働福祉事故防止協議会

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

最後に、春の将棋大会と夏のボーリング大会、麻雀大会の開催を確認して終了した。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

2018年2月22日
継続就労契約の期間満了について
組合員殿
新運転東京地方本部
執行委員長 太田武二
前略。
昨年スタートした貴殿の継続就労は、当組合と供給先事業との労働協約書に基づいて、一年間の有期供給契約を交わした上で、貴殿の合意のもとに行われてきたものです。
そして、一年間の継続供給契約期間が来る3月31日をもって期間満了となり、貴殿の継続就労が終了することになります。
そこで現在、当組合と供給先企業との間で、貴殿の4月1日以降の供給契約について、従来通りの継続就労の方向で交渉しているところです。
つきましては、組合員としての自覚をもって一日一日の安全運転・安全作業に徹することは勿論、組合員としての義務を果たしていただくようお願いいたします。
草々。

2018年度 労供連東京 将棋大会開催！
*開催日時 4月8日(日)午前10時
*会場 タブレット根岸会館5階
*参加費 無料(軽食、賞品、記念品付き)
*個人戦・山田久美女流4段の指導対局
*申し込み先 各支部・分会・本部へ

労供連東京役員会開催！ 賃金労働条件・今年度の諸活動を確認！

去る2月8日午後3時から自運労東京支部会館会議室で開催された役員会議。第一に、今年度の賃金労働条件申し入れについて、*東環保には、現行の全車両・作業員の平均日額から4%の賃金アップと高齢者賃金の撤廃、そして労働現場の改善を求めることを確認。更に、有給休暇との関係で、継続就労者への指定期間は、不就労の6割支給を求めると第5週の休車時の有給扱いは不可という要求を確認した。

更に、「昨年の雇用保険課から出されていた文書にも、我々の組合員は供給先事業所と雇用契約を結んでいて、労働組合は「作業主体ではない」という文言が入っていたのだ。こうした行政の錯誤を正すために、連合、交運労協、国会議員に訴えて労供事業の拡充を求めている。

交通労協春季生活闘争 日比谷野音を埋め尽くして政策制度の実現を！

来る3月8日、最近聞かす。シェアリングエコノミーを旗印に進められようとする夕方、午後6時に日比谷野音に交通労協が一大結果を呼び掛けている。

来る3月8日、最近聞かす。シェアリングエコノミーを旗印に進められようとする夕方、午後6時に日比谷野音に交通労協が一大結果を呼び掛けている。

総決起集会！

来る3月8日、最近聞かす。シェアリングエコノミーを旗印に進められようとする夕方、午後6時に日比谷野音に交通労協が一大結果を呼び掛けている。

来る3月8日、最近聞かす。シェアリングエコノミーを旗印に進められようとする夕方、午後6時に日比谷野音に交通労協が一大結果を呼び掛けている。

支部・タクシー部便り

■東支部

2018年初の支部だよりです。政治、行政が混沌とする中、清掃業界への就労形態が、昨年4月から日々使用の白手帳から一年間の有期供給契約になり、年末年始の対策車の配車がどうなるか心配していましたが、生コンや窓口の組合員の協力でなんとかクリア出来ました。

今年に入り、年始繁忙期の清掃就労が一段落した1月14日支部総会を開き、延べで200名近い組合員の参加を得て昨年の総括と今年の課題を話し合いました。

■タクシー部

異常なくらいの低温が続く今年の関東地方と東京では、降雪により交通麻痺と交通事故が多発しました。一方インフルエンザも猛威を奮っており、私達の周囲でも罹患者が目白押しです。マスクとうがいや手洗



があり、その結果で窓口に戻り方もあるかと思えます。支部としては、有期供給契約の継続を求めています。その為にも組合員の皆



は予防上必須とされていますが、組合員の皆さんは如何お過ごしでしょうか。御身お大切に、ご自愛ください。ところで、年が明けたと

思ったらず、早くも春の弥生。さすがに俊足の戌年らしく立春、雨水ときてもう啓蟄を迎えようとは。寄る年波を肌で感じ、千里の道も一分現状維持の就労スタイルといったところで、賃金のバラつきや、高齢者賃金等の解消には努めなければなりません。

一方タクシーは、ライドシェア反対運動の正念場を迎えます。特に連合や交運労協も本腰を入れて、旅客運送事業の安全・安心確保のために、政府の規制改革会議が画策している営業要件の著しい緩和には厳しくノ一を突きつけるでしょう。そこでタクシー関係の労働組合も、連合や交運労協の協力を得、イデオロギータクシー部長 佐々木克己

■北支部

年が明け早くも2か月が過ぎる。この時期ではありませんが、新年の挨拶である明けましておめでとうございませう。この言葉を支部便りに取って載せたいと思えます。1年前から認定を窓口で切らなくなった事に加え、手帳を返納した有期供給者が9割を数え、新規加入者も面接の時に一度だけ顔を合わすだけで就労先の常勤扱いとなり、組合費に至っては、連絡委員が取りまめて納入するところも増え

■西支部

今年も早いもので2月が終わろうとしています。さて、この時期になるとほとんどの組合員が4月からの配車で自分はどうなるんだらうかと不安な毎日を送っているはず。昨年4月から一般被保険者へ切り替えが始まり1年の有期供給契約が3月で終了します。「日々使用」でも「一般被保険者」でも



組合員さんの顔を見る、言葉が定番でしたが、マンネリ感が強かったのが今年は本部近くの中料理店の飲み食べ放題コースに代えてみました。場所を変えたことで参加者が減ると思われましたが、例年以上の70名近い組合員が集い、大いに盛り上がり新しいスタートを切る事ができました。3月にはお花見、6月にはボーリング大会、9月にはAED講習会等の参加を促しながら帰属意識を高めて頂ければ嬉しく感じます。支部行事に目を向

無期雇用契約でなければ常に付いて回る問題です。しかし、前段で述べたようにあくまでも1年の有期供給契約であり、雇用の安定の観点からみると万全ではありません。よく帰属意識の問題がでますが、我々の原点は「日々の労供」いわゆる窓口です。供給先で任期満了に伴う契約解除をされたときにどうするか考えなければなりません。特に若い組合

員は窓口に戻るのを不満に思い、次の供給先が未定であれば脱退するものもあるかもしれません。更に結婚を機に安定労働を求め脱退するものも出てくるでしょう。そういった意味では、今後、「安定供給」するためにはどうすればいいのか、また、契約満了に伴う来期の不安を取り除く働き方が出来るのか議論しなければなりません。そして、1年の有期供給契約に伴って、供給先になる雇上会社への負担が大きくなり、ここ最近、自転車による死亡事故や無保険による多大な損害が話題となつています。そういった状況下で支部運営委員会では、供給先に迷惑をかけるわけにはいかない理由と個人を守るためにも、自転車、バイク、車など、必ず任意保険を加入させた上で供給し、その契約書を5月末までに支部に提出することを決定しました。組合として供給契約をしている以上、一人が起こした問題は

■南支部

今年に入って早2か月がすぎました。太田委員長、川村書記長、権葉書記次長と共に南支部旗開きを1月に開催して約80人の組合員さんとの楽しい一時を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。御座います。又、連日寒くはじめてくれた、冬季オリンピックが終了し、改めて若い人のエネルギーと圧倒的パフォーマンスに驚き、報われた努力のエピソードにもう泣きました。

さて、春になり親の手から離れて、幼児及び新学期が活発に行動する季節に入ります。南支部で隔月に開かれる交通事故対策の大半は、数十秒の手間を惜しんだ、確認作業。安全運転に必要なることを再確認した

いと思います。「健康管理」心身が健康でないと、判断力の低下による思いがけない事故を起す事がある。「漫然運転」ハンドルを握る時は、常に緊張感を持ち、先を読みながら運転をする。「スピード」道路が閑散としている時、無意識に速度が出てしまう。又、生活路を走行する時は、危険を回避できるスピードで運転をしましょう。「交差点アイコンタクト」交差点での事故防止を図るため右左折の際に歩行者とお互いに視線を合わせ、安全を確認し通行する。無事故は質の良い休憩からです。運転手の方、又、作業員の方も住民様の対応に気を付けながら今年も1年ガンバリましょう。

全体に影響する為、ご理解ご協力をお願いします。最後に、支部で行われた旗開きは、約73名の組合員が駆け付け狭いながらも盛大に盛り上がり喜んでいただけました。お手伝いし



支部長 樋口 浩

支部長 浦田 司